

化学委員会・物理委員会合同結晶学分科会（第25期・第1回）、化学委員会 IUCr 分科会（第25期・第1回）合同分科会議事要旨

I 日時：令和2年10月16日（金） 17:00～18:30

II 場所：遠隔会議（Webex）

III 出欠：

出席者：阿久津典子[†]、井上 豪^{†,*}、上村みどり^{†,*}、栗原和枝^{†,*}、黒田玲子^{†,*}、小林昭子[†]、佐々木 園[†]、菅原 正[†]、菅原洋子^{†,*}、高田昌樹^{†,*}、高原淳^{†,*}、西野吉則^{†,*}、森吉千佳子[†]

欠席者：奥部真樹^{†,*}、小島優子[†]、森 勇介^{†,*}

（[†]結晶学分科会委員、*IUCr 分科会委員）

IV 議題

- 1) 新委員候補の承認および役員を選出について
 - ・ 新委員候補の承認について
 - ・ 役員を選出について
- 2) 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- 3) 委員会委員間のメールアドレスの共有について
- 4) 前期の活動報告について
- 5) 今期の活動方針について
- 6) 公開 web シンポジウム「COVID19 パンデミックを契機として考える日本の結晶学の現状と今後」開催へ向けての打ち合わせ
- 7) その他
 - ・ 化学委員会合同分科会（web 開催）予定について
 - ・ ロードマップ策定について
 - ・ 学術会議会員任命にかかわる問題について

V 配布資料（資料番号は、議題と対応）

資料4 第24期（第1回～第5回）IUCr 分科会結晶学分科会合同分科会議事録

VI 議事

- 1) 新委員候補の承認および役員を選出について
 - ・ 冒頭に、菅原(洋) IUCr 分科会・結晶学分科会世話役から、新しい期に入る場合、通常は分科会が11月に設置され、12月に第1回分科会が開催されるが、今回は既に IUCr 分科

会・結晶学分科会が設置されており、本日第1回分科会を開催することになった経緯について、以下の説明がなされ、了解が得られた。

- ①第24期において開催を決定したシンポジウムが11月29日に予定されていることから、第181回総会（令和2年10月1～3日）において「至急設置する分科会の承認」の手続きが行われ、結晶学分科会およびIUCr分科会の設置が決定した。
 - ②現在、分科会の委員は、第24期からの継続となる委員のみで構成されている。委員会に新しい委員を加えるには、分科会の承認を得ることが必要とされる。
 - ③今回の分科会設置は3月末までで、4月以降の継続の手続きが必要である。
- ・IUCr分科会および結晶学分科会について、各々、下記の退任および新委員候補の承認手続きが行われた。

① IUCr分科会

退任（本人からの退任希望の申し出に基づく）：

森 勇介 連携会員

新規の委員候補（内諾済み）：

阿久津典子 連携会員（現結晶学分科会委員）

片岡幹雄 連携会員（奈良先端科学技術大学名誉教授）

難波啓一 連携会員（理化学研究所放射光科学研究センター副センター長）

森吉千佳子 連携会員（現結晶学分科会委員）

② 結晶学分科会

退任（本人からの退任希望の申し出に基づく）：

森 勇介 連携会員

新規の委員候補（内諾済み）：

秋山修志 連携会員（自然科学研究機構分子科学研究所教授）

片岡幹雄 連携会員（奈良先端科学技術大学名誉教授）

難波啓一 連携会員（理化学研究所放射光科学研究センター副センター長）

野田岳志 連携会員（京都大学ウイルス・再生医科学研究所教授）

山下敦子 連携会員（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授）

なお、富安亮子連携会員（九州大学マス・フォア・インダストリ研究所准教授）については、本人の申し出により当面はオブザーバーとして参加することが認められた。

- ・役員を選出について、新委員候補も念頭に置き、協議した結果、以下の通り役員候補が推薦され、全会一致で承認された。

① IUCr分科会：委員長 高田委員、副委員長 井上委員、幹事 菅原(洋)委員

② 結晶学分科会：委員長 菅原(洋)委員、副委員長 西野委員、幹事 上村委員、阿久津委員

なお、森吉結晶学分科会委員が、IUCr委員への就任が幹事会で承認された後、IUCr幹事に加わることが承認された

2) 議事要旨の提出に関する委員長一任について

- ・「委員会等の議事要旨の公開等に関するガイドライン（平成 30 年 3 月 30 日 第 261 回幹事会決定）」に基づき、議事要旨を会議開催日から 8 週以内に学術会議 HP に掲載することに鑑み、議事録要旨（案）を作成、各委員への回覧をおこなった後の微修正を含めた最終承認は委員長に一任することを全会一致で承認した。

3) 委員会委員間のメールアドレスの共有について

- ・分科会においてメール審議等を行うに際し、構成員間でのメールアドレスの共有が必要となることから、委員構成員間でのメールアドレスの共有が諮られ、承認された。なお、各分科会に加わって頂く新委員には委員長から説明し、承諾を得ることになった。

4) 前期の活動報告について

- ・前期の活動報告として第 24 期に開催された合同分科会の議事録を事前配布しており（資料 4）、新委員が加わる次回の合同分科会（本年 12 月開催予定）において、改めて前期の活動報告を両分科会委員長から行うとの説明があった。

5) 今期の活動方針について

- ・IUCr 分科会について、高田委員長から以下の報告がなされ、
 - ①Ewald 賞 (Prof. Olga Kennard(UK))、Bragg 賞 (Dr. James Foster(USA), Dr. Jean-Philippe Julien(Canada)) が決定した
 - ②IUCr2021 (プラハ) の代表派遣についてはコロナの影響で未定である
 - ③IUCr2023 (メルボルン) は、予定通り 2023 年に開催される IUCr2021 に向けて、準備を進めていく方針が示された。
- ・結晶学分科会について、菅原委員長から第 24 期からの継続案件として、
 - ① 令和 2 年 11 月 29 日に IUCr 分科会と協力して公開 web シンポジウム「COVID19 パンデミックを契機として考える日本の結晶学の現状と今後」を開催する
 - ② 来年度に結晶学会と共催で、公開シンポジウム（結晶学会 70 周年年会特別企画）を開催することを検討することを確認し、シンポジウムの概要をまとめると同時に、今後の結晶学領域での展望なども含めた意見の表出として、分科会において「記録」を作成することが提案され、承認された。

6) 公開 web シンポジウム「COVID19 パンデミックを契機として考える日本の結晶学の現状と今後」開催へ向けての打ち合わせ

- ・菅原結晶学分科会委員長から、現在の準備状況（web サイトおよび申し込みサイトの立ち

上げ、ポスターの作成、座長の依頼、広報活動等) について説明があり、10月15日現在で113名の申込みがあったことが報告され、併せて、広報への協力に対する謝辞が述べられた。

- 当日の総合討論や一般の方からの質問についての対応方法、「記録」の作成のための講演者に対する録画の許可、発表資料の提供の依頼などについて検討し、方針を定めた。また、記録作成へ向けての役割分担を行うこと、後援学協会への報告書作成等についての確認が行われた。

7) その他

- 菅原結晶学分科会委員長（化学委員会委員）より、本年の化学委員会合同分科会は以下の日程でweb開催されること、開催時間帯等については今後決定されることが報告された。

12月25日午前：全体会議

12月25日午後：分科会

- マスタープラン2020を受けて、9月30日、ロードマップが文科省から公表され、以下のサイトで閲覧できることが伝えられた。

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gi_jyutu/gi_jyutu4/toushin/1388523_00001.htm

- 学術会議会員任命にかかわる問題について、学術会議の変遷、会員（候補）の選出方法等についての情報共有、日本学術会議についての正しい情報を伝えるための一般への広報の必要性や学術会議の役割などについての意見交換が行われた。